

令和元年度 岩手県高等学校総合体育大会開催

【前期日程競技報告】

卓球 5月27日～5月29日（一関市）

男子団体

1回戦大野3-0岩泉

2回戦大野1-3岩谷堂（ベスト32）

男子ダブルス

岩崎琉生・間澤悠大（ベスト32）

男子シングルス

岩崎琉生（ベスト32）

女子シングルス

大村愛果（10位）東北大会出場

久今回の高総体では団体戦が2回戦敗退でした。男子個人戦はシングルスで2年間澤悠大1回戦敗退、2年七ツ役晴紀1回戦敗退、3年岩崎琉生3回戦敗退（ベスト32）、ダブルスで岩崎琉生・間澤ペア2回戦敗退、セツ役・岩崎尚旺ペア1回戦敗退でした。女子シングルスは1年大村愛果が10位となり、東北大会出場という結果になりました。卓球部の目標である東北大会出場という目標が達成できたので、東北大会でも勝ち進めるように練習に取り組んでいきたいです。また、県新人大会でも東北大会に出場できるようにしたいです。

（3年 岩崎琉生）

【壮行式
5月16日】



第71回岩手県高等学校総合体育大会で10位となり、東北大会出場を決めました。部内で決めた「人間力を高める」を意識して大会へ臨みました。挨拶などの礼儀、フェアプレーを心がけること、応援していただいた先生方や保護者の方、そして先輩方に感謝を伝えることをしっかり行動に移せました。目標は達成できましたが、まだまだ課題や改善すべきことがあった。それらを反省し、今後に生かしていきたい。

（1年 大村愛果）

バレーボール 5月24日（花巻市）

1回戦 大野0-2大船渡東

私たちは、常に県大会一勝以上、地区大会優勝を目標日々練習してきました。毎回、練習での実力を大会で発揮できないことが課題だったため、メンタル強化にも力を入れてきました。初戦は大船渡東で、相手も私たちと同じような少人数チームでした。私たちは、1セット目の最初から大きく点差をつけられ、いつものパターンのプレーになってしまいましたが、クイックで攻めて、練習内容を活かすことができました。2セット目のトラブルにも臨機応変に対応し、1セット目よりも点差と縮めることができましたが、結果は負けでした。悔しい思いで一杯ですが、自分達の成長も感じる事ができた大会でした。今まで、ご指導して下さった方々、支えて下さった家族、本当にありがとうございました。（3年 小村知佳）

サッカー 5月25日（盛岡市）

1回戦 大野0-14一関高専

サッカー部は5月25日に岩手県営運動公園で、一関工業高等専門学校と対戦してきました。結果は0-14で負けました。私たちは9名という十分な人数ではありませんでしたが、最後までボールを追いかけ、声を出して自分達のプレーをやり遂げることができました。3年生は今大会で引退しますが、1・2年生は、これからは多く活躍できるように



に努力してほしいです。今まで応援して下さいありがとうございました。（3年 工藤就継）

※高総体総合開会式は荒天のため中止となりました。

【前期生徒総会5月9日】 令和元年度前期生徒会スローガン「新たな軌跡」



令和元年度前期生徒会スローガンは「新たな軌跡」です。理由は、昨年度大野高校は、創立70周年という節目の年を迎えました。大野高校は生徒数が大幅に減少するなど、変化が求められています。そんな私たちが様々な工夫をしながら新たな歴史を刻むための第一歩を踏み出していけるようにスローガンを設定しました。前期生徒会では生徒一人一人がそれぞれの個性を生かし、大野高校が更に発展していけるように活動していきたいと考えています。

（生徒会長 3年 遠藤綾聖）



【PTA総会5月11日(土)】

【進路講演会5月11日(土)】

【登校指導PTA交通安全委員5月8日】



「後悔しない進路選択のために」、講師 熊谷恭輔 (マイナビ)

PTA総会には、22名の保護者の方にご出席いただきました。(御陰様で出席率が1/4を超えました。)総会前には、授業参観と進路講演会も実施しています。総会では、活動計画・予算が承認され、新役員が選出されました。退任なされた長川敏彦前会長には、3年間本校の教育活動を支えていただき、心から感謝申し上げます。新会長は坂久保了様、副会長 附柳涼子様、大内田賢様、上岡谷孝幸様、監査 斉藤美奈子様、奥寺誠様、向井佐代子様です。PTA活動では、5月8日に登校指導が実施され、4名の交通安全委員の方においでいただきました。感謝申し上げます。

《取組紹介》

【情報モラル教室】4/17

安心安全な教育環境づくり



講師 久慈警察署生活安全課 課長代理 兼生活安全係長 二子 義孝氏

情報モラル啓発には、生徒会でも取り組んでいます。

【里山づくり講演会】5/24

地域社会との連携・地域貢献



講師 盛岡第一高校副校長 前大野高校副校長 青木 裕信 先生

里山整備の目的を環境教育と地域との連携・協働、地域貢献という視点から、ご講演いただきました。

令和元年度 岩手県立大野高等学校経営計画

(目指す学校像と重点目標)

本校の今年度の学校経営計画を紹介します。

1 目指す学校像は、次の通りです。

- ◎ 生徒が、健康で安全に学校生活を送り、毎日明るくいきいきと通える学校。
- ◎ 基礎基本の定着と、主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ生徒を育成する学校。
- ◎ キャリア教育を通して人生設計力を培い、一人ひとりの進路実現を支援する学校。
- ◎ 地域社会と連携し、地域の活性化や地域防災に貢献できる人材を育成する学校。

2 重点目標と取組方針は次の通りです。

重点目標【ア～オ】 及び 重点目標ごとの取組方針【(ア)(イ)(ウ)(エ)】

ア	地域や学校の課題を踏まえ、教職員が協働して学校経営に参加する。 (ア)教職員が、教育目標の実現に向かい協働して学校経営に参画する姿勢を持つ。 (イ)教職員が個々の資質向上に努めるとともに、地域との連携を図り学校経営に活かす。 (ウ)遠隔教育推進事業の実施と活用について検討する。
イ	基礎基本を定着させ、主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ生徒の育成を目指す。 (ア)朝学習の計画的な指導や授業改善、学習の振り返り、家庭学習への主体的取組を促し、基礎的基本的学力の定着及び「思考力・判断力・表現力を育成」を目指す。 (イ)わかりやすい授業に努め、生徒の学習活動を工夫するとともに、観点別評価を活用して、生徒が協働して学び、課題解決に向かう力を育成する。
ウ	キャリア教育を通して生徒に人生設計力を培い、一人ひとりの進路実現を支援する。 (ア)生徒の進路希望を叶えるために、個々の特徴や能力を把握し、生徒の発達段階に応じた計画的な課題を設定する。 (イ)インターンシップやLHR、教科指導、総合学習等を通じて、主体的に進路を選択し、決定できる能力を育てる。
エ	地域社会と連携し、地域の活性化や地域防災に貢献できる人材を育成する。 (ア)本校のよい伝統である挨拶をさらに徹底させ、地域の児童生徒の模範となるよう努める。 (イ)自他の生命とお互いの人権を尊重し、大切に明るい学校づくりに努める。 (ウ)「いきる・かかわる・そなえる」の視点に立ち、行政、家庭・地域と連携し、地域防災の担い手の育成と生徒が地域課題に関心をもち、その解決に取り組もうとする態度を育成する。 (エ)地域行事に積極的に参加し、地域の一員としての自覚と、自己有用感を持って地域の活性化に貢献する人材を育成する。
オ	安心安全な教育環境のもと、生徒一人ひとりを大切に。 (ア)いじめ問題に対して組織的に対応するとともに、生徒の困り感を把握し総ての教職員が親身になって話を聞く姿勢を持つ。 (イ)生徒の心と体の健康状態に配慮し、安心安全な教育環境づくりを推進する。 (ウ)学校からの情報発信を通じて、学校の取組について広くアピールする。

6月のご案内

学校へ行こう週間

6月13日(木)～19日(水) (6月13・14日は体育祭です。)

大野高校の活動を地域の方々に公開します。来校時は受付をお願いします。(土日を除く5日間です。)

- ・ 前期中間考査 6月7日(金)～11日(火)
- ・ 里山事前整備 6月15日(土)
- ・ 里山整備 6月28日(金)

